

競技注意事項

第52回北海道学生陸上競技選手権大会 札幌厚別公園競技場
令和5年9月23日(土)・24日(日)

1. 競技規則について

本大会は、2023年度日本陸上競技連盟規則、ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 札幌厚別公園競技場使用上の注意

- 1) 当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) 競技開始後はフィールド内での練習を禁止する。
- 3) 競技場を使用しての練習は競技開始の15分前までとする。
- 4) ウォーミングアップは補助競技場にて行うこと。補助競技場の使用規則については、後に記載の通りとする。
- 5) 競技前の投擲種目の練習は係の指示に従うこと。また、空いた穴は修復すること。
- 6) 観戦禁止区域での場所取り、観戦、撮影等は行わないこと。

3. アスリートビブスについて

- 1) 学連登録した競技者は、各自の学連アスリートビブスを使用する。まだアスリートビブスを受け取っていない競技者には、受付の際に団体ごとに学連アスリートビブスを配布する。
- 2) トラック競技の場合は、腰ナンバー標識をつける。また、3000m以上の競技の出場者は通しナンバーカードをつける。(両方とも招集の際に競技者係で配布する。)女子10000m、10000mWに出場する競技者については、各自のレーンナンバーに10を足した数字を使用すること。
- 3) 腰ナンバーは、個人トラック出場者については右側にのみつける。
4×100mRについては4走者のみ右側につける。4×400mRについては2,3走が両側に、4走が右側につける。

4. 補助競技場の使用について

- 1) 安全確保のため、棒高跳、投擲種目の練習に関しては禁止とする。競技開始前の公式練習にて行うこと。
- 2) 走幅跳、走高跳については練習を行う際の用器具のセットなどについては使用する団体で行うこと。主催者は設営を行わない。
スタートブロック、ハードルなどについても、各自器具庫から出し入れしてかまわないが、使用后、各自で片づけをすること。
- 3) リレーの練習などで使用したマークは、各団体が責任を持って処分すること。
- 4) 補助競技場を除く競技場周辺においても投擲物を用いた練習行為を禁止する。
- 5) 補助競技場の使用時間は大会の競技終了時間までとする。
- 6) 秩序のある練習をし、安全に留意して使用すること。
- 7) 補助競技場におけるテントの設営は完全に禁止する。
- 8) その他、不明点があれば各自で判断せず大会本部まで聞きに来ること。

5. 招集について

- 1) 競技者は競技日程に記載された時間までに一次点呼を行い、その後競技開始場所に直接集合する。
- 2) 一次点呼を指定された時刻までに完了しなかった、または指定された時間に競技開始場所にいなかった競技者は当該競技種目を棄権したものとみなされ当該競技種目に出場できない。
- 3) 招集時間は以下の通りである。

	一次点呼	現地集合時間
トラック競技	競技開始40分前	競技開始20分前
フィールド競技（棒高跳を除く）	競技開始40分前	競技開始30分前
棒高跳	競技開始70分前	競技開始60分前

- 4) 一次点呼場所（以降競技者係）は競技場メインエントランスに設ける。
- 5) 同一時間に複数種目に出場する場合、その旨をあらかじめ競技者係に伝えておくこと。
- 6) 代理人による点呼は原則として認めないが、競技者が他の種目に出場中の場合のみ代理人による点呼を認める。その場合はその旨を競技者係にあらかじめ伝えておくこと。
- 7) 3000mSC、5000m、10000m、10000mW ではシューズの厚さ検定とレーンナンバーの書かれたビブスの配布をもって一次点呼とする。その他の競技では一次点呼場所に掲示されたスタートリストへの丸付けをもって一次点呼とする。
- 8) リレー種目は、オーダー用紙（競技者係に用意）に走順・ナンバー・名前を記入し、一次点呼終了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。なお、オーダーを提出したチームに関しては丸付けの必要はなく、オーダー提出を持って招集完了とする。
- 9) 混成競技の招集は、その日の最初の種目のみ招集を行い、以後の招集は行わない。競技者は次の種目の実施場所に移動し、混成競技者係の指示を受ける。

6. シューズについて

- 1) 各競技者は日本陸上競技連盟陸上競技規則 TR5 に基づいたシューズを着用すること。
以下の表は日本陸上競技連盟陸上競技規則より抜粋した靴底の最大の厚さである。
これ以上の厚さのシューズで出走することはできず、仮に基準より重い靴で競技を行った場合は競技規則に基づいて失格となるので注意すること。

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目 （三段跳を除く）	20mm	全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く、長さを競う跳躍種目に適用。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
ハードル種目を含む 800m 未満のトラック種目	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
障害物競争を含む 800m 以上のトラック種目	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。
競歩種目	40mm	

7. 棄権について

大会当日、やむなく棄権する場合は、棄権届け（2枚）に必要事項を記入し、競技者係へ提出すること。なお、棄権届は競技者係にあるので、取りに来ること。

8. 競技の抽選・番組編成について

- 1) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順はアスリートランキング記載の順による。
- 2) 準決勝以降の組み合わせ、およびレーン順は主催者が抽選する。
- 3) 事前棄権者が多数の場合、予選ラウンドが行われない競技については、選手の最高記録を考慮して決勝ラウンドの番組編成を行う。

9. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使わなければならない。ただし、投擲物は個人所有のものを使用することができる（招集完了時間1時間前に用器具庫で各々検査を受けて許可されたものに限る）。この投擲物は、他の競技者も使用できる。（TR32）
- 2) 滑り止めとして使用する炭酸マグネシウムなどについては主催者側で用意しない。必要に応じて各個人が持参すること。

10. トラック競技について

- 1) すべて写真判定とするが、万一、機器が故障し、復旧しない場合は、手動計時に切り替えて継続する。
- 2) 風向きによって走行方向（ホームストレートまたはバックストレート）が変わるとされる種目（100m、200m、100mH、110mH）に関しては、競技開始 30 分前の風向きを参考に走行方向を決定する。
- 3) 次の種目は、競技進行に遅れを生じさせる恐れがある場合のみ、次の条件で打ち切ることがある。制限時間は以下の通りとする。また、このタイムは変更の場合がある。

男子5000m	18分00秒	女子5000m	22分00秒
男子10000m	45分00秒	女子10000m	45分00秒
男子10000mW	65分00秒	女子10000mW	65分00秒
男子3000mSC	15分00秒	女子3000mSC	18分00秒

- 4) 混成競技のシューズ検定については必要に応じて行う。
種目によって基準を満たしたものをを使用すること。

11. フィールド競技について

- 1) フィールド競技における競技場内での練習は原則として2回とし、すべて競技役員の指示に従う。
- 2) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- 3) 参加人数により、選手と相談の上競技開始時間を変更することがある。その際は必ず総務に相談すること。
- 4) 走幅跳、三段跳については、2ピットで行う場合がある。
- 5) 円滑な競技進行のため、試技を行う際は制限時間を厳守すること。
- 6) フィールド競技の競技場所に近接したスタンドにコーチングエリアを設ける。
競技者とのコミュニケーションはコーチングエリアから行うこと。

- 7) 跳躍競技でのバーの上げ方は下記の通りとするが、競技役員の判断をもって状況により変更することもあり得る。特に棒高跳はバー止の付け替えの関係で変更することもあり得る。

種目・種別		練習	1	2	3	4	5	6	以降上げ幅
走高跳	男子	1m70	1m70	1m80	1m85	1m90	1m95	1m98	3cm
		1m90							
	女子	1m30	1m30	1m40	1m50	1m55	1m60	1m63	3cm
		1m55							
	男子混成	1m30	1m30	1m40	1m50	1m60	1m65	1m70	3cm
		1m50							
	女子混成	1m15	1m15	1m25	1m35	1m45	1m50	1m53	3cm
		1m30							
棒高跳	男子	2m70	2m70	3m00	3m30	3m60	3m90	4m00	10cm
		4m00							
	女子	2m70	2m70	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	10cm
		3m30							
	男子混成	2m30	2m00	2m30	2m60	2m80	3m00	3m20	10cm
		2m70							

- 8) 男子三段跳の踏切版は、砂場から 11m の位置に設置する。女子三段跳の踏切版については砂場から 9m の位置に設置する。大会本部の判断により変更することがある。

12. 表彰について

- 1) 各種目第 3 位までの入賞者を表彰するので、該当者は競技終了後、アナウンスが掛かり次第、競技場エントランスに集合すること。

13. 抗議について

- 1) 競技進行中に起きた競技者の行為、または競技成績に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表(アナウンス)されてから 30 分以内(予選、準決は 15 分以内)に、総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなされる。
- 2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。その裁定を不服とし、さらに抗議する場合は抗議申立書と預託金 10,000 円を添えて上訴する。この預託金は抗議が受け入れられなかった場合は没収される。
- 3) この間の事務処理は総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

14. その他

- 1) 競技者の衣類の管理は、すべて各自で行うこと。※役員・補助員による運搬は行わない。
- 2) 盗難・紛失について、主催者で受領した物品等については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。なお、主催者で受領した物品等は大会本部で管理する。
- 3) 応急処置について 競技中の事故等による身体の故障の場合、医務員が応急処置を行うが、その後の治療等は本人負担とする(競技者保険の適用)。また、事故の結果について本連盟は一切責任を負わない。医務室は、大会本部に設置してある。
- 4) 学校関係者以外の撮影は禁止とする。撮影許可証は学校・報道にのみ渡すので、保護者や OBOG などの関係者は学校関係者より受け取ること。

- 5) 競技者（選手）がカメラで撮影されることによって嫌悪や不安に感じられる場所からの撮影は禁止する。また、撮影している場所によっては不審と判断された場合、撮影許可証があっても競技役員が注意・指導、撮影内容の確認をする場合がある。
- 6) 不審者等がある場合、大会本部まで問い合わせること。
- 7) その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。